

平成28年6月13日
熊本河川国道事務所
熊 本 県
国土技術政策総合研究所

プロジェクトチーム（PT）を設け復旧工法を検討します ～ 俵山トンネルや桑鶴大橋などの復旧工法を検討 ～

- 熊本地震により通行不能となっている^{くまもとたかもり} 県道熊本高森線、^{とちのき たての} 村道栃の木～立野線の復旧については、熊本県知事からの要請があり、直轄代行により国が責任を持って取り組んでいるところです。
- 復旧にあたっては、^{くわつるおおし} 桑鶴大橋、^{あそ ちょうようおおし} 阿蘇長陽大橋をはじめとする橋、^{たわらやま} 俵山トンネルをはじめとするトンネルが被災しており、その被災が大規模かつ特殊であることから、復旧には、高度な技術力を必要とされています。
- このため行政と専門家^{※1}からなるプロジェクトチーム（PT）を設け、著しい損傷を受けた道路構造物の詳細な損傷状況調査や復旧工法の検討を行います。
- ※1（専門家） ・国土交通省 国土技術政策総合研究所
・国立研究開発法人 土木研究所
・九州地方整備局 緊急災害対策派遣ドクター（TEC-DOCTOR）^{※2}
- ※2 TEC-DOCTORは、九州地方整備局が委嘱した、災害時の被災調査や復旧指導を頂いている専門知識を有する学識経験者から構成されています。
- 道路構造物ごとに専門家からなる橋梁PT、トンネルPT、土工PTを組織することとし、トンネルPTは6月14日（火）、橋梁PTは6月17日（金）から活動を開始します。

【問合せ先】

九州地方整備局 熊本河川国道事務所 技術副所長 徳田 浩一郎
調査第二課長 島川 浩一

TEL：096-382-1111（代表）

熊本県土木部 道路都市局 道路保全課 審議員 坂本 龍哉
道路整備課 審議員 古城 和人

TEL：096-383-1111（代表）

国土交通省 国土技術政策総合研究所 道路構造物管理システム研究官 福島 眞司

TEL：029-864-7604